



ライカ SF 26 フラッシュユニット ファームウェア Version 1.1 について

ライカ M (Typ240) およびライカ M-P (Typ240) で新たに追加されたメニュー項目「フラッシュ光量補正」を使用するには、ライカ SF26 フラッシュユニットのファームウェアのバージョンが 1.1 以降である必要があります。ライカ SF26 フラッシュユニットのファームウェアのバージョンは、以下の手順でご確認いただけます。

1. フラッシュユニットの電源が切れていることを確認します。
2. TTL ボタンを押しながらフラッシュユニットの電源を入れます。

まず TTL ボタンの LED が点滅します。続いて、SLAVE ボタンの LED が点滅します。LED が点滅した回数がファームウェアのバージョンです。

バージョン 1.0 であれば、TTL ボタンの LED が 1 回点滅し、SLAVE ボタンの LED は点滅しません。

バージョン 1.1 であれば、TTL ボタンと SLAVE ボタンの LED が 1 回ずつ点滅します。

3. TTL ボタンを離します。

ファームウェアのバージョンを示す点滅が終わると、設定しているモードにより、TTL ボタンまたは SLAVE ボタンの LED が点灯します。

ライカ SF26 フラッシュユニットのファームウェアはダウンロードによるアップデートはできません。アップデートをご希望の場合は、弊社カスタマーケアまでお持ちいただくか、配送にてお送りください。

ライカカメラジャパン株式会社 カスタマーケア

東京都中央区銀座 6-4-1 ライカ銀座店内

Tel:03-6215-7072

E-mail: Info@leica-camera.co.jp

営業時間: 火曜日-土曜日 11:00-18:00 (休: 日曜日、祝祭日)